

**製品名: ホスホ-ホスホランバン (Ser16) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84873**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 6 kDa; Observed MW: 12,24 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-Phospholamban (Ser16)
別名	PLN; PLB; Cardiac phospholamban; PLB
遺伝子 ID	5350.0
SwissProt ID	P26678
免疫原	ヒトホスホランバンの Ser16 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

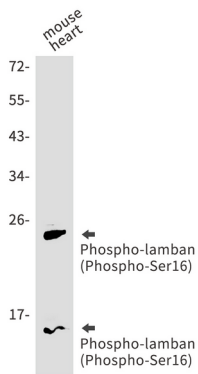
**背景**

心臓筋小胞体における ATP2A2 の活性を可逆的に阻害し、ATPase の Ca<sup>2+</sup> に対する見かけの親和性を低下させる。ATP2A2 への作用

を介して、生理的刺激に対する心筋の収縮力を調節する。筋弛緩時のカルシウム再取り込みを調節し、心筋におけるカルシウム恒常性維持に重要な役割を果たす。ATP2A2 阻害の程度は、PLN のオリゴマー状態に依存する。ATP2A2 阻害は PLN のリン酸化によって緩和される。

## 研究分野

## 画像データ



リン酸化ランバン (Ser16) 抗体を使用したマウス心臓溶解物中のリン酸化ランバン (Phospho-Ser16) のウエスタンブロット分析。